



◆ 【TIA-nano 他】

つくばイノベーションアリーナ ナノテクノロジー拠点ホームページ

「つくば先端機器共用施設連携ワークショップ 2013」

3月22日（金）東京ステーションカンファレンス 参加費無料 締切3月19日

NBCI も後援。

<http://tia-nano.jp/events/2012/0212.html>

[https://nanonet.go.jp/mu33j9njf-445?action=multidatabase\\_action\\_main\\_filedownload&download\\_flag=1&upload\\_id=1013&metadata\\_id=134](https://nanonet.go.jp/mu33j9njf-445?action=multidatabase_action_main_filedownload&download_flag=1&upload_id=1013&metadata_id=134)

◆ 【AIST：グリーン・ナノエレクトロニクスセンター】

「グリーン・ナノエレクトロニクスのコア技術開発 2013年 成果報告会」

省エネルギー社会を実現し情報社会の継続的な発展を維持するためには、IT機器の消費電力を桁違いに低減する事が必須となっている。

本件はLSIの消費電力を1/10～1/100に低減する事を目的とした研究開発の成果報告会。

産総研のグリーン・ナノエレクトロニクスセンター（GNC）主催で、TIA-nanoが後援。

3月13日 学術総合センター（一ツ橋） 参加費無料

<http://www.gnc-sympo.jp/>

◆ 【AIST 他】 産業技術総合研究所ホームページ

第38回産総研サイエンスカフェ

「太陽の光で水から水素を ～エネルギー問題解決を目指す人工光合成～」

3月8日開催 参加費無料 申し込み必要

[http://www.aist.go.jp/aist\\_j/event/ev2013/ev20130308\\_2/poster\\_zoom.jpg](http://www.aist.go.jp/aist_j/event/ev2013/ev20130308_2/poster_zoom.jpg)

◆ 【MMC】

MEMS講習会

「マイクロナノデバイス及びプロセス技術の最前線」

<http://www.mmc.or.jp/fsic/seminar/koshu-20/index.html>

◆ 【JST】 FIRST 最先端研究開発支援プログラムホームページ

第3階サイエンスフォーラム「ブレークスルー:自分の壁を乗り越えるために!」

トップ科学者はどのようにして壁を乗り越えていくのか?研究の原動力、スランプからの脱出法は?科学者の最先端研究の現場での実体験から、自分の壁を乗り越えていくためのヒントをつかむ。

3月17日開催 参加費無料 京都バルスプラザ 締切3月13日

<http://first-pg.jp/forum/forum3-3rd.html>

★★ NANOTECH NEWS ★★

◆【九州大学】九州大学ホームページ

寿命を10倍伸ばす燃料電池用触媒を開発。カーボンナノチューブに白金を担持。

[http://www.kyushu-u.ac.jp/pressrelease/2013/2013\\_02\\_21.pdf](http://www.kyushu-u.ac.jp/pressrelease/2013/2013_02_21.pdf)

◆【NIMS 他】物質・材料研究機構ホームページ

ポリマーがカーボンナノチューブを可溶化する過程のリアルタイム観測に初めて成功。

カーボンナノチューブ実用化の鍵となる技術の進展に大きな貢献。

<http://www.nims.go.jp/news/press/2013/02/p201302070.html>

◆【AIST 他】産業技術総合研究所ホームページ

凝集しにくい粒径約20nmのコアシェル型ナノ粒子を開発、サンプル出荷を開始。

ディスプレイ表面の反射防止には、高屈折率フィルムが有効であるが、その製造過程で高透明度と高屈折率を実現するためには、ナノ粒子の分散が重要である。

[http://www.aist.go.jp/aist\\_j/press\\_release/pr2013/pr20130129/pr20130129.html](http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2013/pr20130129/pr20130129.html)

室温、大気圧で製膜できるフレキシブルなCNT透明導電フィルムを開発。

タッチパネル、太陽電池、有機ELディスプレイなど幅広い応用が期待される。

[http://www.aist.go.jp/aist\\_j/press\\_release/pr2013/pr20130125/pr20130125.html](http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2013/pr20130125/pr20130125.html)

★【編集後記】

極東情勢は難しさの度を増しているようですが、我が国経済も明るさを取り戻しつつあります。安倍首相が訪米、オバマ大統領と日米安全保障、TPP等について会談し、当面の我が国の進む方向が明確化してきているようです。

成長戦略はまだこれからの検討となりますが、長期政権となり、腰を据えた戦略立案、推進を期待したいところです。

産学官のイノベーションの取り組みも出口志向、具体的成果の創出に転換してきているように感じられます。

このような時期にメルマガ nono2BIZ を創刊できましたことは誠に幸運であったと考えています。そうした環境変化からか、心配された個人の購読申し込みも当初の想定を上回る勢いで推移しております。やはりメルマガの力は配信数にあると考えて

います。このまま順調に購読者数を増やし、発刊の目的であるナノテク関連の産業  
基盤の拡大、イノベーション創出に貢献したいと考えています。

これから読者の皆様の叱咤激励をいただきながら、回を追うごとに内容充実を努めて  
行きたいと考えております。

今後とも、よろしくご協力のほどお願い申し上げます。

○ご意見、ご投稿を募集しています。

こちらから一方的に情報をお届けするのではなく、双方向化することを期待しています。  
いただいた情報をすべてご紹介するわけにはまいりませんが、できるだけ多く紹介したい  
と考えています。

内容的には新製品、新技術の紹介、オープンイノベーションのパートナー募集、政府等へ  
の要望等どのような内容でも結構ですので気軽にご投稿願います。

以下のメールアドレスまでご連絡ください。

Mail: nano2biz@nbcj.jp

◎【新規メルマガ配信会員募集中】

できるだけ多くの方にお申込みいただきたく、ナノテクにご関心を持たれてる方々に  
ご紹介をお願い致します。つきましては、皆様方のお知り合いの方々への本メルマガ  
の転送をお願い致します。

お申込みはこちらへ Mail: nano2biz@nbcj.jp

協 力：TIA-nano 推進協議会



発行元：一般社団法人 ナノテクノロジービジネス推進協議会

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台一丁目 8 番地 11 東京 YWCA 会館 3 階

TEL: 03-3518-9811(代表) FAX:03-5280-5710

メルマガ url: <http://www.nbcj.jp/nano2biz/nano2biz.html>

Copyright(C)Nanotechnology Business Creation Initiative.All rights reserved.

